

## 令和7年度 学校経営方針

### 1 はじめに

当校は、教育目標を「自立・共生・挑戦」へと令和2年度にリニューアルし、新生石山中学校としてスタートしました。また、同時に、当中学校区の絆を深め、子どもたちを協働して育むために開催してきた「石山の教育を語る会」により、石山地区で育みたい子ども像「生活を楽しみ、これからの時代を創る子ども」が策定され、令和5年度からは、学校運営協議会でも共有されています。この間、生徒一人一人の自他を思いやり、向上しようとする意欲と取組に寄り添い、支援を惜しまない教職員、保護者、地域の方々の協働と努力の積み重ねが相まって、落ち着いた中に活力ある教育がチームとして展開できるようになってきました。さらに、石山中学校区あいさつ運動や地域貢献活動の実施など、小中、関係機関、地域との連携の具体も進み、「地域と共にある学校」を着実に推進しています。

現在の具体的な生徒の姿として（新潟市生活・学習意識調査の結果より）、「学校生活は楽しい」と完全肯定回答した生徒の割合が81.3%で、新潟市平均61.4%を約20%上回っています。また、「自分にはよいところがある」では同回答が53.0%（市平均42.6%）、「やっていることを先生や友達に認められて、うれしいと感じることがよくある」では71.7%（市平均58.9%）、「地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりしてうれしいと感じることがよくある」では52.9%（市平均49.6%）という実態があります。

これらのことから、今の石山中学校の生徒たちは、学校生活や地域での生活において、友達や教職員、保護者、地域住民からほめられたり認められたり頼りにされたりといった体験により、日々、嬉しさを感じることができている。そして、そのことによって自己肯定感や自己有用感が高まり、周りのことも認めることができている。だから、みんなが学校生活を楽しく充実して過ごすことができているのではないかと考えます。

### 2 教育目標「自立・共生・挑戦」及び目指す生徒の姿

石山中学校区の目指す子ども像 「生活を楽しみ、これからの時代を創る子ども」

教育目標	目指す生徒の姿
自立	自己肯定感・自己有用感を高め自立する生徒
共生	コミュニケーション力を高め共生社会に参加・参画する生徒
挑戦	新たな価値の創造や課題解決に向けて挑戦する生徒

### 3 学校理念 「嬉しさと喜びをつなぐ学校」

生徒たちの、「できなかったことが仲間と協力したらできた」「〇〇をしたら先生に褒めてもらった」「自分の考えをクラスみんなが認めてくれた」等といった嬉しさ。

教職員の、「クラスの〇〇さんが頑張って問題を解けるようになった」「合唱発表会に向けてクラスが団結してきた」「部活動の大会でメンバーが練習の成果を発揮してくれた」等といった嬉しさ。

保護者の、「学校行事や部活動で子どもが活躍している姿を見ることができた」「話す内容や行動に成長が見られるようになった」等といった嬉しさ。

地域の方の、「朝の登校時に生徒が元気に挨拶をしてくれた」「AKG地域貢献活動で自治会の子どもたちが公園をきれいにしてくれた」等といった嬉しさ。

学校内で、または学校を介して、生徒・教職員・保護者・地域が日々嬉しさを感じることができる。そしてその日々の嬉しさの積み重ねが、将来の喜びとなっていく。石山中学校はそんな「嬉しさと喜びをつなぐ学校」を目指します。

#### 4 教育目標と3つの嬉しさ

- 自立 … 「自分には価値があると思える嬉しさ」  
～自己を知り、よりよく生きよう～
- 共生 … 「仲間や大人と共に活動できる嬉しさ」  
～認め合い、支え合い、高め合おう～
- 挑戦 … 「できることが増えていく嬉しさ」  
～見通しをもって課題解決に向かおう～

#### 5 今年度の重点 「RV-PDCA サイクルを、生徒自らが実践できるような支援・指導の推進。」

- ・ Research : 今の自分の状況を的確に知る。
- ・ Vision : 近い未来のなりたい自分の姿をイメージする。
- ・ Plan : なりたい自分に近づくための方策を考える。
- ・ Do : その方策を実行する。
- ・ Check : 達成度を振り返る。
- ・ Action : 振り返りをもとに、改善策を講じる。

#### 6 今年度の実践事項

##### (1) 自立

- ① レジリエンス教育の推進
- ② 異学年交流での、貢献し、認められる機会の設定
- ③ 各種活動における、目標設定と振り返りの実施

##### (2) 共生

- ① 学級・学年の支持的風土づくり
- ② 集団における自治活動の設定
- ③ A K G活動の拡大と地域活動の推進

##### (3) 挑戦

- ① 自発的に学習に取り組む生徒の育成
- ② よりよい学校へのアップデートを目指した生徒会活動の推進
- ③ 総合学習における「課題設定・計画・見通し・課題解決」などの「学び方」指導の充実